

デジタル庁なんていない！

1・18院内集会

菅政権の目玉政策として突如登場したデジタル庁構想。

強い権限を与えて、国の省庁だけでなく、自治体のシステムも統一化・標準化しようとしています。私たちの行政手続きが役所に行かなくてパソコンを使ってできるようになり大変便利になるという触れ込みです。

しかし真の狙いは私たち市民の利便性になどはありません。私たちの情報は「データ」としてあらゆる垣根は取っ払われ、利用し尽くされるのです。目指されているのは、デジタル化による社会改造なのです。

私たちを守ってきてくれた自治体の個人情報保護条例も国並みのレベルの低いものに変えようとしています。

「自己情報コントロール権」の対極にある「データ共同利用権」なる新たな「人権？」を引っ提げてデジタル庁は登場しようとしています。できあがるのは超監視社会です！

私たちは決して騙されてはいけません。私たち人間をデータの束としか見ていない菅政権にデジタル庁なんて新たな役所は作らせません！

2021年1月18日（月）

13：45～16：00

会場：衆議院第2議員会館 1階多目的会議室

発言：海渡雄一（共謀罪対策弁護団）

原田富弘（共通番号いらないネット）

自治体議員（個人情報保護条例「国基準化」問題）

挨拶：各野党国会議員

○13時00分よりロビーにて通行証配布を行います。

○オンライン配信のURLは <https://youtu.be/oGH8PyK5eU0> です。

主催：共謀罪NO！実行委員会&「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

連絡先：080-5052-0270（宮崎）